

湖風会報

滋賀県立大学同窓会
湖風会

滋賀県立大学同窓会報 第六号

湖風会会長挨拶

第3代会長に就任して

会長 矢吹 安子
(昭42 家政部卒)

本年6月24日
(土)に、平成29年度「湖風会」通常総会が開催されました。この



総会において、私は同窓会「湖風会」の3代目の会長としてご承認頂きました。

岡田会長のととの会長という重責を賜り、身の引き締まる思いでございますが、一生懸命努めさせていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

歴代の会長をはじめ、役員および会員皆さまのご努力によって平成25年には「同窓会館」が建設され、また昨年には「湖風会」設立10周年記念事業が盛大に挙行されて、同窓会「湖風会」の基礎を築き上げられてきました。

設立11年目を迎えた現在では、短期

大学の卒業生約17,400名、県立大学の卒業生約9,900名、合計約27,300名の大組織となりました。

地域に根ざした伝統ある私たちの「湖風会」は、①地域支部や学部支部を主体とする会員相互の交流を図る②母校の県立大学との連携強化による学生支援や社会貢献を活動の中心としておりますが、人口減少が進む中、受験生確保を考える、この2本の柱は今後ますます重要になってまいります。

平成27年度にはクラス会が28件、平成28年度にはクラス会25件と同好会2件が開催されました。

今後一層多くのクラス会や同好会が実施され、和気あいあいの中、思い出話に花が咲き、懐かしんでいたただくひと時をたくさん作っていただけたらと願っております。そして、「湖風会館」にもお出かけ頂きたいと思っております。

皆さまと手をたずさえ、集うことが楽しいワクワク感いっぱい「湖

風会」となりますよう頑張っております。

どうぞ、皆さまの一層のご指導、ご鞭撻、そしてご協力をよろしくお願い申し上げます。

前会長退任挨拶

湖風会会長を辞して

岡田 定一
(昭34 農業部卒)

初代会長種橋清一さんの後を受けて、平成23年に2代目会長をお引き受けし



て以来2期4年が過ぎて、これでお役御免と思っていたところ、翌年には同窓会設立10周年を迎えるので、その準備の為、全役員統投ということで、今年6月の定期総会で、家政部出身の矢吹安子さんに会長職を引き継ぐことができました。

この間、平成25年2月、県立大学理

事長(学長)以下理事職教授と「湖風会」役員との意見交換会を行い、以後毎年定例的に開催することとなりました。また、同年3月の大学卒業式から、同窓会会長名で各学科成績優秀者1名ずつを表彰することとなりました。

平成25年3月、同窓会館が竣工し、同年11月落成記念式典と記念講演会を開催しました。

平成27年6月、県立大学創立20周年記念事業の式典等に参加するとともに、大学の人材育成基金の募金活動の広報に協力しました。

平成28年11月、湖風会設立10周年記念事業として、講演会を開催し、「会員名簿」と「同窓会設立10周年記念誌」を頒布しました。

湖風会の下部組織としては、3地域支部と4学部支部と形は出来上がりました。

このように、湖風会の組織が整い、それぞれの事業が行われましたこと、これ偏に本会役員、支部役員をはじめ大勢の方々のご努力の賜物です。

改めて厚く御礼申し上げます。

県立大学の卒業生は、第一回卒業生がまだ40歳そこそこです。彼等が仕事の第一線を退くまであと20年余りの間は、私達短大卒業生が中心となって、この同窓会を盛り立てていかなければなりません。会員の皆様のご協力をお願い致します。

滋賀県立大学学長挨拶

学長 廣川 能嗣



公立大学法人
滋賀県立大学の
理事長・学長に、
本年4月就任致
しました廣川能
嗣（ひろかわよしつぐ）です。

本学は、1995年（平成7年）に開学して22年が経ちました。その間、県立大学としての使命を全うするために、学部学科の再編や新設などを行い、現在は、環境科学部、工学部、人間文化学部、人間看護学部の4学部13学科、また、大学院においては、4研究科9専攻の構成となっています。これまでに1万2千名を超える学生が学び、1万名近くの学生が巣立ち、滋賀県内外で活躍しています。

一方、本学を支援頂いている同窓会においては、2006年（平成18年）11月に、その組織を一本化されて「湖風会」が誕生し、大学としても喜ばしい限りです。これをきっかけに、

卒業生名簿の整理、成績優秀卒業生表彰、インターシシップや学生の会社見学等の就職支援、卒業生への生涯メールサービスなど、多岐にわたりのきめ細かなご支援を頂き、大変感謝しています。

「湖風会」が誕生した同じ年の4月には、よりダイナミックで戦略的な組織運営ができるよう、大学は法人化して、公立大学法人滋賀県立大学となりました。これに伴い、設置者である滋賀県から示される中期目標を受けて、6年間の中期計画を作成、実施することが求められています。今年度は、第2期中期計画の最終年度です。この計画をしっかりと達成するとともに、現在、来年度から始まる第3期中期計画の作成を進めています。

この中期計画の大きな柱として、「教育」「研究」「地域貢献」「大学運営」に加えて、「大学のブランド力の強化」を据えることを考えています。「地域に根ざし、地域に学び、地域に貢献する大学」をモットーとしているわが大学を、これからも皆さまに認めて頂くには、ブランド力の強化が不可欠と考えるからです。それは、大学のみで出来るものではなく、社会で活躍されている卒業生の皆さまのお力添えが大変重要です。そのためにも、湖風会と緊密に連携して、滋賀県立大学がその存在感を世に示し、卒業生の皆さまにもこれまで以

上に誇れる大学として育っていくよう全力を尽くす所存です。今後とも皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

通常総会開催結果

平成29年度の湖風会通常総会が開催されました。

総会結果の概要は以下のとおりです。

日時 平成29年6月24日13時30分

場所 大学内A7-102教室

出席者

会員78名 委任状383名 計461名

来賓 滋賀県立大学理事長・学長

廣川 能嗣様

同 学生・就職支援G統括

北村 善幸様

司会

戸田 雄一氏

議長

中川富美江氏

議案審議

第1号議案 平成27・28年度事業

報告

第2号議案 平成27・28年度収支

決算書・監査報告

第3号議案 平成29年度役員改選

第4号議案 平成29年度事業計画

第5号議案 平成29年度予算計画

岡田会長の挨拶に続き、廣川理事長・学長から祝辞をいただいた後、議

案審議に入りました。各議案については、担当役員から提案説明の後、各々挙手により承認され、矢吹新会

長からの挨拶と続きました。

また総会終了後、人間看護学部棟ナシエリアで懇親会が和やかに開催されました。



表1 会 計 報 告

I 一般会計

(単位：円)

平成27・28年度 収支決算			平成29年度 収支予算		
収入の部			収入の部		
収入科目	平成27年度決算額	平成28年度決算額	収入科目	平成29年度予算額	
会 費 収 入	5,830,000	6,150,000	会 費 収 入	6,500,000	
雑 収 入	59,725	47,001	雑 収 入	50,000	
収入の部小計	5,889,725	6,197,001	収入の部小計	6,550,000	
前年度繰越金	13,430,912	11,322,989	前年度繰越金	11,322,840	
収入の部合計	19,320,637	17,519,990	収入の部合計	17,872,840	
支出の部			支出の部		
支出科目	平成27年度決算額	平成28年度決算額	支出科目	平成29年度予算額	
一 般 経 費	1,423,863	2,595,782	一 般 経 費	1,490,000	
設 備 費	239,760	369,360	設 備 費	250,000	
事 務 管 理 費	1,830,119	1,679,418	事 務 管 理 費	1,840,000	
委員会活動費	2,389,175	98,141	委員会活動費	3,130,000	
支部活動費	1,252,210	561,620	支部活動費	920,000	
活動助成金	280,000	270,000	活動助成金	400,000	
会館維持管理費	332,521	322,829	会館維持管理費	400,000	
会館修繕積立金	200,000	200,000	会館修繕積立金	200,000	
そ の 他	50,000	100,000	そ の 他	200,000	
支出の部小計	7,997,648	6,197,150	支出の部小計	8,830,000	
次年度繰越金	11,322,989	11,322,840	次年度繰越金	9,042,840	
支出の部合計	19,320,637	17,519,990	支出の部合計	17,872,840	

II「湖風会」
(旧単位同窓会寄付金)特別会計

(平成27・28年度)

(単位：円)

科 目	収 入	残 金
前年度繰越金		
特別会計分	10,000,000	10,000,000
会館建設費残金	7,462,864	17,462,864
利息	1,368	17,464,232
寄附金	438,030	17,902,262
合 計	17,902,262	17,902,262

III 湖風会館修繕積立金会計

(平成27・28年度)

(単位：円)

科 目	収 入	残 金
前年度繰越金	400,074	400,074
積立金	400,000	800,074
利息	103	800,177
合 計	800,177	800,177

表2 平 成 2 9 年 度 役 員 改 選 就 任 者

所属学部支部	役員名(卒業年) ◎会長 ○副会長 △地域・学部支部長							
環 境 科 学 部	△日置靖男(S42)	△安田佐登志(S44)	○植田儀一郎(S45)	田中靖志(S49)	伊垣剛(H6)	○小林匡哉(H17)	岸本希実洋(H21)	柳沼勇多(H23)
工 学 部	△川崎眞治(S36)	○△松下恭明(S40)	長谷正勝(S40)	大森哲夫(S41)				
人間文化学部	◎矢吹安子(S42)	辻ひとみ(S42)	早川幸代(H1)	阿閉順子(H8)	○戸田雄一(H14)	邊見将史(H22)		
人間看護学部	○中川富美江(S48)	安寺久美子(S49)	五坪千恵子(S53)	川合小百合(S57)	馬場文(H22)			
監 事	高瀬藤一郎(農業S39)		安部八重子(家政S43)					

委員会の活動報告

総務委員会

湖風会では、執行機関としての「役員会」を定期的(二ヶ月に一度)に開催し、事業計画や予算・決算の審議、さらに大学との協調・連携活動のあり方や各種規程の改廃などを審議しています。

当委員会は、会長および学部同窓会の代表等(7人)で構成し、役員会の運営を効果的に行い、積極的な活動を展開するための総合調整機能としての役割を担っています。

具体的には次の課題を中心に協議しています。

①役員会への提出案件や当同窓会の課題の事前協議

②各委員会や各学部・支部の取り組み等の情報収集と連携強化策の協議等

このことにより、組織の縦軸と横軸をつなぐ調整機能を果たし、同窓会としての円滑な運営に努めることとしています。

今後とも、会員の皆さんからのご提案やご意見等を踏まえながら、湖風会の円滑な運営に努めてまいりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

(昭45 農業部卒 植田儀一郎)

名簿管理委員会

10周年記念事業の1つ「会員名簿」の発行に際しては、大学関係者や名簿制作会社等のご協力の下、本委員会にて諸々の基本事項を検討・整理し、活動委員会及び役員会へ諮問しました。

それらは、名簿の仕様、掲載項目、掲載対象正会員と特別会員、宛先不明者の現住所調査、その他幾つかの事項です。湖風会にとっては初めての経験で有る為、発行までには起案を始めて2年近い時間を掛けました。その作業では旧短期大学単位同窓会が過去に発行された名簿や、その他過去の資料を参考にして、会員や特別会員(教職員)を把握することができました。

ここ数年は、卒業時にその後の新しい住所、勤務先等の連絡用ハガキを配布し、住所録の充実に取り組んでいます。返答率は10%前後と低調です。

今後更に名簿情報を充実させる為に、県大卒業生の就職内定企業情報のまとめ、宛先不明者の住所把握活動に努力いたします。

(昭40 工業部卒 松下恭明)

就職支援委員会

平成28年度卒業生の就職内定率は97.9%となりました。文科省が公表している大学の推計内定率が97.6

〈就職支援委員会からお願い〉

この紙面を借りて皆様にお願いで

な取組をされています。

「保護者向け就職説明会」の実施など、学生へのより良い就職に向けて、様々

業の研究會、病院合同説明会の開催、また保護者への昨今の就職活動や進

路に関する情報の提供を目的とした

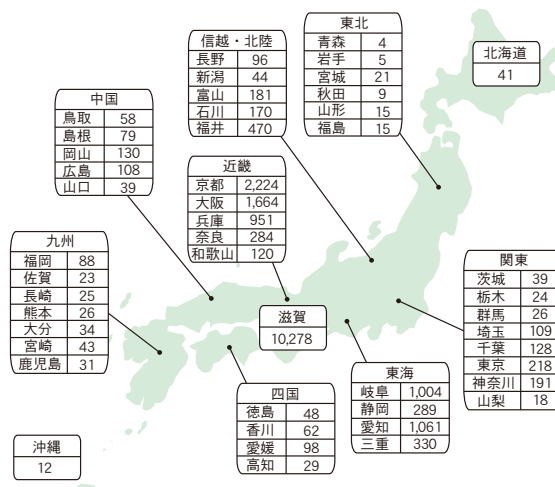
インシツプ(学生の就業体験)、公務員試験対策講座の実施の他、業界・企

%なので、それより少し高い内定率となつています。(表3)

同窓会員の住所分布状況(平成29年6月末現在)

(単位:人)

	環境科学部	工 学 部	人間文化学部	人間看護学部	合 計
北海道	23	4	11	3	41
東北	24	8	34	3	69
関東	185	135	393	40	753
信越・北陸	299	136	442	84	961
東海	806	653	1,043	182	2,684
近畿(除滋賀)	1,889	1,288	1,712	354	5,243
滋賀	3,099	2,129	4,194	856	10,278
中国	153	57	169	35	414
四国	88	19	114	16	237
九州・沖縄	139	35	88	20	282
海外	21	10	27	3	61
合計	6,726	4,474	8,227	1,596	21,023
物故者	429	388	308	12	1,137
住所不明者	1,601	1,135	1,387	455	4,578
総会員数	8,756	5,997	9,922	2,063	26,738
会費未納者	1,158	836	1,124	184	3,302
総計	9,914	6,833	11,046	2,247	30,040



広報委員会

広報委員会は2年に1度の「湖風会報」の発行と都度更新の「ホームページ」

(平17 環境科学部卒 小林匡哉)

ろしく願ひします。

生・就職支援グループ迄ご連絡をよ

す。インターンシップの受入企業が

少ない一方で、大学側から、受入可能

な企業があれば教えてほしいと依頼

されています。皆様のご勤務先など

で、受入についてご検討頂けるよう

であれば、滋賀県立大学事務局 学

生・就職支援グループ迄ご連絡をよ

ろしく願ひします。

(平17 環境科学部卒 小林匡哉)

るしく願ひします。

生・就職支援グループ迄ご連絡をよ

す。インターンシップの受入企業が

少ない一方で、大学側から、受入可能

な企業があれば教えてほしいと依頼

表3 平成28年度卒業・修了者の就職状況

(平成29年5月1日現在)

学部・研究科	希望者	内定者	内定率(%)
環境科学部	133	132	99.2
工学部	59	59	100
人間文化学部	186	181	97.3
人間看護学部	70	70	100
小 計	448	442	98.7
研究科博士前期課程	81	78	96.3
研究科博士後期課程	5	3	60
合 計	534	523	97.9

報発信に取り組んで行きます。

広報委員会はこれからも適切な情

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

報発信に

(昭41 工業部卒 大森哲夫)

湖風会館管理委員会

湖風会館は、湖風会の各種役員会をはじめ各支部の会合、大学の各種教育の一環としての利用、および大学生による打ち合わせやサークル活動、等々に活用されていますが、まだまだ余裕がありますので、事務局までお問い合わせの上ご活用ください。尚、ご利用に際しては、「湖風会館管理規程」を遵守して頂きますようお願いいたします。この規程はHPに掲載されています。

また今後は徐々に湖風会の歴史をはじめ、色々な資料の整理をして閲覧、展示が出来るようにして行きたいと考えております。ご意見ご提案等が有れば、事務局までご連絡下さい。

(昭42 工業部卒 日置靖男)

湖風会設立10周年記念事業報告

平成28年11月12日湖風会設立10周年記念式典を開催しました。

この記念式典に備え、記念事業実行委員会を立ち上げ、次の4つの事業を行いました。

①会員名簿の発行

名簿発行には個人情報保護の問題もあり、専門会社に委託・発行することになりました。

その結果、2万9千余名を収録した立派な名簿が完成し 1942名の多くの会員が購入されました。

② 記念誌の編集

歴代の同窓会のあゆみの記録・資料をまとめたものです。

湖風会ルーツの単位同窓会の記録、湖風会設立までの活動、湖風会設立後10年における組織の構築と同窓会館の建設と、大きく3つの活動の記録です。

③ シンボルマークの作成

「湖風会」は5単位同窓会が統合設立され、滋賀県に在る」をコンセプトに会員および在学生から募集し、18点の中から審査を経て、生活デザイン科在学生、岡田千穂さんの作品が採用されました。

デザインは、琵琶湖のブルーで、5つの羽根で5単位同窓会を表し、且つ「こ」「ふ」「う」と平仮名文字が読み取れるものです。

④ 記念式典

記念式典は、記念講演・式典・シンボルマークの発表と表彰、さらには祝賀会を和やかな内に行いました。

以上の事業すべてを多くの方々の協力の下に、無事達成できました。

また、この活動の結果、湖風会設立までの間、当時の役員方々の大変なご苦勞を皆さんに紹介でき、また記録として残せたことは良かったと思います。

(昭40 工業部卒 松下恭明)

支部同窓会

滋賀支部

通常総会 開催

平成28年6月25日(土)、湖風会館にて開催しました。

今回は特別講演として、琵琶湖博物館の学芸員を講師に招き、「琵琶湖の誕生」と題し、何百万年の琵琶湖の起源のお話をして頂きました。また、評議員さんにはアンケートをお願いしました。

楽しく、参加し易い総会になるよう努力しております。次回の総会にも何か工夫をと考えております。

評議員の更新

諸事情で総会などへの出席が困難な評議員に替えて、平成27年度は157名の新たな方々をお願いしました。

また、役員も適時更新の方向で取り組んでいますが、候補者探しに苦慮しております。新役員への名乗りをお待ちしています。

記念クラス会のすめ

クラス会開催のきっかけになればと考えて、卒業10周年・20周年・30周年・還暦そして古希の歳に当たるクラスの評議員の方に「クラス会を開催しませんか」と案内状を送付しています。その結果、毎年10クラスほど開催されています。

クラス会開催には助成金制度がありますので活用して下さい。

(昭40 工業部卒 松下恭明)



東海支部

平成29年度の東海支部総会は5月20日(土)に、アイリス愛知にて県立大学人間文化学部の田中敏明先生をお招きして、三国史(日本、中国、韓国)の穏やかな古代ロマンの悠久の

歴史をひも解く記念講演を開催致しました。

しかし第二次大戦後70余年平和が続く歴史の変化の中、人類は再び決して踏み出してはならないところまで来ている昨今、過去の歴史に学び平和の意味を噛みしめるひと時を過ごすことが出来、しばし楽しい時間でした。

現在湖風会には学部同窓会も立ち上がり、歴史ある地域同窓会(東海支部)として来年以降も県立大学の先生方に講演をお願いして、此の地域に在住する同窓生の生涯学びの場となるよう、湖風会も幅広い多くの支



部会員が在籍し、県大出身の会員が増える中、徐々に繋げていけたらとの思いです。

(昭42 工業部卒 日置靖男)

近畿支部

近畿支部は滋賀県を除く近畿2府3県(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・和歌山県)に在住、又は勤務の方々と構成されています。会員数は滋賀支部に次いで多い現在約6,000名の会員数です。(本年度で県大卒業生が約半分にになりました)

平成23年3月に5単位同窓会の役員が初めて集まり、平成24年4月に



「設立総会」を挙行了しました。

その後毎年約4回の役員会や年末の「忘年会」等で各学部間の「親睦」を図る活動を続けています。

6年目を迎えた現在は学部間を超えて「和気藹々」の付き合いになり、お互いに個人的な話が話題になるような付き合いが出来て居ります。

今後は「趣味を中心とした同好会」等の開催で会員間の親睦の場を拡げていく事を考えています。昨年秋季には奈良の「春日大社第60次式年造替」に合わせてお参りをいたしました。これからは是非近畿支部の多くの皆様のご参加をお待ち申し上げております。

最新の情報は「湖風会・近畿支部」のホームページにリアルタイムに掲載をいたしますので、是非ご覧いただきご参加くださいます様、お願い申し上げます。

(昭36 工業部卒 川崎眞治)

工学部支部

2011年11月に学友会の設立総会を開催してから、早いもので6年、その前身の「彦機会」も含めると20年が経過したことになります。

会員諸氏、湖風会、大学のご支援ご協力を頂き、お陰様で順調に活動を継続して行くことが出来ました。

学友会では、以下の四つの事業を中心に活動を推進しています。



これらの事業は、隔月に開催される理事会で計画立案・遂行・フォローアップを行っています。

学友会では、県大工学部の教授を特別理事という形で理事会に参画して頂いています。このことが大学と同窓会の連携が円滑に、濃密に取れている大きな要因と考えています。

前回の湖風会報以降2年間の主な行事を紹介します。

一、学友会第三回総会の開催

2016年11月、県大301講義室にて開催。今回は湖風会10周年記念行事、湖風祭と同日開催となり、大田学長・岡田会長をはじめ以下102名の出席を得ました。

二、会社訪問の実施

兵神装備(株)・高橋金属(株)の訪問を行いました。2012年度からこの会社訪問は、県大工学部の機械システム工学科の学生が授業の一環として参加しています。学生・同窓生・大学の連携が取れる良い事業であると自負しております。

三、同好会活動他

ゴルフ、ウォーキング&小旅行、フット、カラオケの同好会活動も益々活発に活動実績を重ねています。

これらの学友会活動の様子は、都度学友会のHPに掲載しておりますので是非ご覧ください。

(<http://k-gakuyuka.jp/>)

(昭40年 工業部卒 藤浪市郎)

- 一、会員と県大工学部との連携推進
- 二、会員相互の交流・親睦の推進
- イ、同好会活動
- ロ、HPの維持
- ハ、名簿管理
- 三、県大工学部の活動支援
- 四、事務局(学友会の運営統括)

環境科学部支部

支部の愛称が「環友会」に決まる

大学の発展の一端に寄与することと会員相互の連携を深めようと、湖風会環境科学部支部が平成27年6月に発足して早2年が過ぎました。この間、短大農業部、短大建築学科、県立大学環境科学部の卒業生が2回の



総会と屋外バーベキューによる交流会を通じ、年代を越えた交流を年々深めてまいりました。

今年は、第3回総会を6月17日(土)に湖風会館において岡田定一湖風会会長(当時)を来賓にお迎えして開催いたしました。支部総会に先立ち農業部農業経済学科同窓会「江友会」の総会が開催されたこともあり、62名と多くの会員に出席をいただきました。総会では、平成28年度事業・収支決算報告、平成29年度事業計画・収支予算を承認いただいたほか、環境科学部支部の愛称が、昨年会員から応募のあった12件の中から「環友会」「環境」「環境科学、農業、建築の共通基盤である『環境』と「環(わ)のもとに集う」と決まりました。

総会終了後、カフェテリア「ナシエリア」において58名の参加のもと、和やかなひとときを過ごし交流を深めました。

(昭49 農業部卒 田中靖志)

人間文化学部支部

平成27年11月に支部を設立し、2年が経過しました。芹翠会からのメンバーと人間文化学部の卒業生がひとつになり、幅広い世代が力と知恵を出し合っており、より良い会になるように活動を進めています。

本年6月には第2回の総会を開催し、あらたに多くの方に評議員とし



て加わっていただけることになりました。

総会後は恩師である武邑尚彦先生にご講演をいただき、また、懇親会では卒業生による歌と演奏もあって和気藹々とした雰囲気の中、参加された会員の一体感を醸成できたと感じています。この会が、多くの方に支えられて成り立っているということ、再認識する機会となりました。

評議員をはじめ設立に関わる全ての方が撒いてくださった種が、ようやく芽吹きはじめています。会員約9,000人のこの会が、にぎやかに花開き大きな実を結ぶように、みなさまからぜひ活動への声をお聞か

人間看護学部支部

せくください。そして卒業生の交流・親睦の場として気軽にご参加いただけることを、役員一同いつもお待ちしております。

(平14 人間文化学部卒 戸田雄二)

わが「湖畔の会」は、学部支部では最後になりましたが、平成28年3月5日(土)に支部を設立致しました。

「湖畔の会」のみでの活動はなかなかできませんが、本部「湖風会」と共に活動をしています。そんな中で、



滋賀県立大学同窓会「湖風会」人間看護学部支部「湖畔の会」設立総会 平成28年3月5日(土)

「湖畔の会」のホームページを立ち上げました。一度覗いてみてください。ご投稿がありましたら本部までご連絡ください。今は来年3月の総会に向けて準備を進めています。

通知については、すべての方に連絡することができません。この会報を見ての申し込み・お問い合わせについては、1月末までに「湖風会」本部へ、氏名・住所・卒業年・連絡先（必ず連絡が取れる携帯番号等）をお知らせ願います。

今後とも「湖畔の会」活動へご支援よろしくお願い致します。

「湖畔の会」総会のご案内

一日時

平成30年3月3日(土) 10時

二、場所

滋賀県立大学同窓会

「湖風会館」

三、懇親会 人間看護学部内

「ナシェリア」にて

会費 5,000円程度

(昭48 看護部卒 中川富美江)

クラス会

S39工業建築科卒

◆開催月日 2017年(平成29年)

6月11日(日)～12日(月)

◆会場

佐川美術館・琵琶湖

コンファランスセンター

◆参加者

12名

昭和39年建築卒同窓会「燦久会(サンキュウカイ)」は5年ほど前から毎年開催することになっています。毎回、



燦久会同窓会 IN 琵琶湖コンファランスセンター 平成29年6月11日

幹事役が熱心できっちりタイムスケジュールや見学場所の資料を作成してくれていましたが、今回は、佐川美術館の建築時に工事の責任者でもあった、福坂君が幹事役でもあり、詳細な建築データを基に建物の説明と、建築時の苦労話やエピソードなど、あまり聞くことのない話を聞くことが出来ました。平山邦夫画伯の仏教伝来の流れをテーマにした日本画や彫刻家佐藤忠良の作品などゆっくり鑑賞し、日常を忘れ豊かなひとときを過ごせたように思います。

懇親会は『琵琶湖コンファランスセンター』で行われましたが、会場に直接合流する人もあり、全員揃ったところで懇親会が始まりました。

55年前の出会いから始まり2年間

の学習・遊び・語り合いなど濃密な学生時代を共に過ごし、その後、社会人としてそれぞれが建築関係の道に進み、高度成長時代を経て半世紀余、人間としての味のある域に達した『仲間』、会が進むにつれ、気分は学生時代に戻り、大いに盛り上がった会となりました。

その後、聞こえてくる波の音に誘われ、夜の湖畔に出ると、打ち寄せる白波、見上げると、満天の星、懐かしい青春の思い出に耽る時間を過ごしました。

翌日は湖風会館に立ち寄り学内の散策の後、キャッスルロードを歩き彦根城博物館を見学、井伊家の生い立ちなどを見て、佐和山に近い龍潭寺に行きました。寺の解説書によると、ドラマ、女城主直虎に出てくる井伊谷にある龍潭寺を開基として建てられたとのこと、500年以上の歴史を持つ名刹を見学しました。

楽しい内に、幹事が作成してくれたスケジュール通りの会が終わり、次回も来年開催と決まり、寺元穆君に幹事役をお願いし、再会を約して解散となりました。

S46農学科卒

◆開催月日 2017年(平成29年)

6月4日(日)

◆会場

近江八幡 ひょうたんや

◆参加者

21名 恩師3名

一昨年、第2回同窓会が草津で開催され、40年ぶりの出会いに時を忘れ、楽しいひと時を過ごさせていただきました。その中で「2年に一度はやろう!」と決まり、今回は近江八幡が担当する事となりました。

当日は、朝9時半から和船による水郷めぐりを楽しむAコースと、正午からの食事会Bコースの案内をさせて頂き、Aコースに14名、Bコースには10名の方々に参加をして頂きました。

恩師の中嶋隆先生、中村久郎先生、西尾敏彦先生にも御出席を賜り、変わらぬお元氣な姿を拝見させて頂き、嬉しく思いました。

水郷めぐりは、梅雨入り前の好天に恵まれました。湖上をぬける爽やかな風の中、水面(みなも)で遊ぶカイ



ツブリの親子を見、ヨシキリの声を聞きながら、時のたつのも忘れ、静かな初夏の葦原の水郷を満喫しました。食事は正午から駅前のもようたんやさんでお世話になりました。記念写真の後開宴。お酒が入った所で各自近況報告。自治会や営農組合、地域活動にと、まだまだ頑張っている方も多く、それが終わると、社寺の総代、老人会の役など受けている方も増えてきました。ボチボチその様な年になったと実感しました。

恩師を囲み、今回40数年ぶりに出会う友を囲み、話はつきません。ひょうたんやさんの御厚意により、時間は充分に取って頂いたのですが、あつと言う間に3時半となりました。今回は「湖北地域」という事で、脇坂君に幹事を依頼し、2年後に再会することを約束し、お開きとしました。幹事(片岡、蒲生、小西、仲村、八田)(報告 八田仁左衛門)

S51工業機械科卒

◆開催月日 2017年(平成29年)

5月20日(土)

◆会場

グランドデュークホテル
(彦根)

◆参加者

20名(宿泊11名)

今回で3回目……早や42年が経過し、還暦を過ぎた旧友が彦根に集合。卒業生38名中、既に4名もの物故者が有り、同窓会は黙祷から始まる。



県短昭和51年3月卒業 機械工学科 同窓会 平成29年5月20日 於 グランドデュークホテル

輪番で卒業後の社会経験、近況などを笑いを交え報告。(様々なドラマを垣間見る)

積もる話に時間が足りず、16名が二次会、13名が三次会まで参加！

宿泊者のうち6名は、特別室で日付変更線までの四次会に突入したとか……

更に翌日は「県立大学」「彦根城」等を満喫して解散。5年以内の再会を誓いました。

それまで楽しいセカンドライフを送って下さい。みんな元気な……♪！

幹事：中村正豊、塚本明彦、木内康弘、大菅太嘉治(記)

S57看護学科卒

◆開催月日 2016年(平成28年)

11月26日(土)

◆会場

京都 新都ホテル

◆参加者

13名

オリンピックの年、4年ごとに同窓会を開いています。今回は、紅葉の京都で行いました。ほとんどの方が現役で活躍のため、研修や業務と重なり出席できない人も多かったのですが、岡山や金沢といった遠方からの出席もあり、13人が集いました。田中先生、筒井先生、端先生は体調不良によりご出席はかなわず残念でした。一日も早いご回復をお祈りします。

始まる前から、皆、昔に戻り、おしやべりに花が咲き、あつという間に年月を押し戻してしまいました。



乾杯の後、1人ずつマイクの前で近況報告を行いました。仕事のこと、家族のことなど話はつきず、時間が過ぎていき、最後は卒業アルバム映像を見ながら、なつかしい思い出話で幕を閉じました。

出席してくださった皆さん、ありがとうございました。

いつも元気をいただいて帰れます。お元気で。また4年後にお会いしましょう。

(報告 川合小百合)

H24生活栄養学科卒

◆開催月日 2016年(平成28年)

1月16日(土)



◆会場 CEN-TRO
◆参加者 12名

約1年ぶりにクラス会を開催しました。クラスの半数程の参加数でしたが、学生時代を懐かしんだり近況報告で盛り上がり、大変有意義な時間を過ごすことができました。次の幹事を決め、次回のクラス会を楽しみにしながら解散しました。

県大ニュース

○「地域ひと・モノ・未来情報研究センター」を設置しました。

平成29年4月1日より、ICT(情報通信技術)化手法による地域課題解決に取り組む研究開発拠点として、工学部に「地域ひと・モノ・未来情報研究センター」を設置しました。

「ICT」を核に据えた取り組みとするため、工学部に設置しています。4つ(環境科学部・工学部・人間文化学部・人間看護学部)の異なった特色の学部を持つ本学の特徴を活かして、学部の枠にとらわれない、横断的な研究・教育を進めていきます。

また、設立を記念して平成29年5月31日(水)に開催したシンポジウムには、たくさんの方々にご来場いただきました。

当日は三日月大造滋賀県知事からもお祝いの言葉をいただきました。酒井道センター長からの研究活動

内容の紹介をはじめ、京都大学の中村裕一教授、立命館大学の島川博光教授、西日本電信電話株式会社の笹田国博部長による特別講演も行われ、その後開催されたパネルディスカッションでも、熱心な議論が交わされました。今後は、研究・教育活動にとどまらず、知識・技術を習得した人材が、それぞれの分野の中心に携わる人材として地域で活躍することも期待されています。

○滋賀経済同友会との包括連携協定を締結しました。

本学と滋賀経済同友会は、地域の課題に適切に対応し、それぞれが有する人的・物的資源等を有効に活用し、連携・協力して地方創生に資する具体的な取り組みを行い、地域社会に貢献することを目的として、包括連携に関する協定を締結しました。この協定で、取り組む連携事項は以下のとおりです。

- (1) 地域経済社会における人材の育成に関すること
 - (2) 地域課題解決に向けた共同研究に関すること
 - (3) ICTの活用等による専門家の育成および産業振興に関すること
 - (4) その他、双方が必要と認める事項
- 平成29年7月10日(月)には、本協定の締結式がびわ湖大津プリンスホテルにてとり行われました。

事務局からのお知らせ

以下の事項については既に詳細をHPに掲載しております。是非HPをご覧ください活用をお願いします。

・滋賀県立大学生涯メールサービスについて

卒業生の皆さんと本学が直接情報交換や連携が出来るよう、生涯利用可能なメールアドレスを発行しサービスを開始しました。社会的に信頼性があるため、セキュリティの高い機関にもメールアドレスの登録が可能です。

・湖風会館建設資金募集終了のお知らせ

湖風会館建設寄付金募集は本年(平成29年)3月末日をもちまして終了致しました。ここに会員皆様方の多大なるご協力に対し、厚くお礼申し上げます。

・会員名簿と10周年記念誌の販売

昨年の湖風会設立十周年記念に合わせて、会員名簿と記念誌を作製・販売致しました。このほど若干数の予備在庫分ですが、販売することになりました。

・同好会にも助成金が出ます

会則に合致した一定規模以上の同好会にも、クラス会同様の助成金が出るようになりました。

・湖風会会費納入のお願い

県立大学が開学されて23回目の新入学生を迎えました。湖風会会費未納入の方が約3,500名居られます。

今回この方々には、会費納入依頼の文章と振込用紙を同封させて頂きましたので、是非ご協力お願い致します。

事務局連絡先

〒522-8533
滋賀県彦根市八坂町2500
湖風会 事務局
Tel. 0749-28-4400
Fax. 0749-28-4400

E-mailアドレス
s.kendai4400@kofuukai.jp
ホームページ(HP)アドレス
http://kofuukai-usp.jp/
発行責任者 矢吹 安子

